

【評価対象年度 2023年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市ふるさと農具館		
施設概要	【所在地】町田市野津田町2288番地 【開設年月】1992年4月 【開館日時】火曜日～日曜日／9時30分～16時30分(11月～1月は9時30分～16時) 【建物面積】404.57㎡ 【建物内容】ふれあい館(151.52㎡)、体験実習館(133.9㎡)、パネル館(99.28㎡)、菜種貯蔵庫(19.87㎡) パネル館…市の農業などに関するパネルを展示している ふれあい館…昔から使われてきた農具の展示や生活様式の紹介をしている 体験実習館…月に一度油しぼりの実演を行っている 【建物構造】鉄筋コンクリート造 2階建		
設置目的	町田の農業を後世に継承するため、また多くの市民に農業への理解を深めてもらうため。		
設置根拠法令・条例	町田市ふるさと農具館条例		
所管部課	経済観光部農業振興課	問合せ先	042-724-2166
施設ホームページURL	https://www.city.machida.tokyo.jp/kanko/sangyo/nougyo/shimintonou/agri02.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	七国山ふれあいの里組合	法人番号	5700150115299
指定管理者所在地	町田市野津田町2452番地		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)町田市ふるさと農具館の管理運営に関する業務 (2)なたね油製造に関する業務 (3)裏山散策緑地の管理に関する業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
小学校の社会科見学を増やし、菜種のサンプル配布も行う	2020年度	2020年度に社会科見学による来館者等に菜種のサンプル配布を行った。
七国山地区の景観につき1年を通して関心を持っていただくよう、その花の開花時期が分かるマップの作成し、配布する	2019年度	2019年度にマップを作成し、来館者へ配布を行った。
農業への関心を深めてもらうよう施設パンフレットの改訂を行う	2019年度	2019年度に施設パンフレットの改訂を行った。

3. 昨年度の課題

内容	【2020年度評価委員会指摘事項】 施設本来の目的に沿った見学者を増やす取り組みを行う必要がある。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	ふるさと農具館の紹介映像を活用しながら、小学校等の団体見学を積極的に受け入れたが、団体利用数が前年度から6組減少し21組となった。映像の活用と共に、実際に農機具に触れる体験等の企画を検討し、更に団体利用数の増加に努めて欲しい。また、町田薬師池公園四季彩の杜指定管理者等と連携した回遊イベントや、市民参加型の「そばの実の収穫体験」などを行い、ふるさと農具館のPRIに取り組んだところ、施設利用者数は前年度から206名増加した。今後も地元の農業者で組織されている団体の強みを生かし、親しみのある案内や体験を通して、農業への理解や関心を深めてもらえるような施設を目指して欲しい。 【2020年度評価委員会指摘事項】 四季彩の杜と連携した回遊イベントの実施や「そばの実の収穫体験」などの市民参加型のイベントを行い、施設利用者数の増加に取り組んだ。次期指定期間においても、集客に向けた取り組みを積極的に進め、今後も利用者に足を運んでもらえる魅力ある企画の検討を行って欲しい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	ふれあい館に展示中の唐箕を使った実演を予定していたが、破損を考慮し実施できなかった。今後は、収穫体験時に使用している唐箕を使った実演を検討していきたい。 本年度も利用者アンケート回答者に菜種の配布を行った。より人気のあるオダマキやジャーマンアイリスの配布を行えるよう栽培に力を入れる。 2024年度は、小学生を対象にしたそばの花のスケッチ会開催を予定している。 その作品を体験実習館で展示し、参加者には七国山の蕎麦や菜種油などを配布する企画を検討している。	

## 【評価対象年度 2023年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	<b>【調査期間】</b> 2023年4月～2024年3月 <b>【回収枚数】</b> 148枚 <b>【調査方法】</b> 調査票を来館者に直接手渡し。回収箱で回収。
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:80%以上 B:50%以上～80%未満 C:50%未満	95%	97.9%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	95	95	95	95	95
実績値	94.9	84.5	98.9	96.4	97.9

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
団体利用数	A:50組以上 B:30組～49組以下 C:29組以下	50組	21組	C	
指定期間内における実績(単位:組)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	50	50	50	50	50
実績値	59	19	21	27	21

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
施設利用者数	A:35,000人以上 B:25,000人～34,999人以下 C:24,999人以下	30,000人	16,618人	C	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
実績値	19,880	13,722	16,592	16,412	16,618

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
<b>B</b>	イベント等を通じて施設利用者数は前年度から増加したが、一方で団体利用数は減少し、いずれも目標値の達成には至らなかった。利用者満足度は目標値を上回り、良好な水準だが、次期指定期間においても、より多くの方から意見を聴取し、魅力ある施設を目指して欲しい。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者に対し平等・公平な対応がおこなわれているか	来館される方は、どなたにでも同じ対応が出来る。	来館される方には、どなたにでも平等・公平な対応が行われていることをヒアリングから確認した。	適
	一般利用者の施設利用は妨げられていないか	利用の妨げになるような事案が発生していないか常に気配りしている。	団体利用がある場合は、職員の人数を増やすなど一般利用者の施設利用が妨げられないよう努めていることをヒアリングから確認した。	適
施設の運営方針・管理方針	設備機器(消防・防災・空調等)の安全管理・保守点検等	定期点検を実施している。	業者による年2回の消防点検、年4回の空調点検が実施されたことを業務報告書から確認した。	適
	施設と法人(団体)本部との間で十分な連絡や調整がなされているか	定期的に連絡を取り合っている。	本部役員会で連絡・調整が行われていることを業務報告書から確認した。	適
	物品の管理は適切か(協定書等による取り決めの範囲において)	物品を丁寧に取り扱い、管理を行っている。	毎月提出される備品管理票で物品を丁寧に取り扱い、適切に管理していることを確認した。	適
	清掃業務等が適切に行われているか	施設を清潔に保っている。	毎日の職員の清掃に加え、業者による清掃も月1回行われており、施設を清潔に保っていることを毎月の業務報告書から確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護のための体制	個人情報保護の体制ができています。	個人情報保護取扱規定を作成している。	適
	個人情報の管理	施錠した保管庫に保管している。	個人情報に関わるものは施設できる保管庫で管理していることを現地調査で確認した。	適
要望対応	苦情、要望等の情報の職員間の共有と対策	職員間で情報共有し、対策案を出せている。	苦情や要望は無かったが、職員間で情報共有し対策案を出す体制がある。	適
	苦情、要望等の市への報告	市職員に苦情、要望を迅速に伝えている。	苦情や要望は無かったが、市職員に迅速に伝える体制がある。	適
危機管理	危険防止や不良箇所の早期発見に努めているか	毎日簡易点検を実施する。	施設内外の見回りを毎日行っていることを毎月の業務報告書から確認した。	適
	事故発生時の適切な対応	緊急時の連絡体制が職員間で周知徹底されている。	年度当初に連絡網を作成し、職員間で周知徹底されている。	適
人的安定性	職員間の情報共有	定期的な情報共有がなされている。	打ち合わせや職員間の連絡ノートにより情報共有がされていることを現地調査で確認した。	適
	職員の勤務条件は適切か	協定書の通り適切に勤務している。	協定書の通り勤務していることを業務報告書から確認した。	適
管理経費の縮減	指定管理に関する経費の適正使用	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	適
	利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減ができていないか	費用対効果を吟味し経費を支出している。	節電など利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減している。	適
地域貢献	地元住民が利用できる施設になっているか	地元住民が訪れるような自主事業を行っている。	地元でとれた野菜の販売などの地元住民が訪れるような自主事業を行っている。	適
	地域、関係機関、近隣住民と良好な関係を保つ	開館時のトイレの開放と、路上駐車防止に努めている。	路上駐車があった際は、近隣駐車場の案内を行い、路上駐車防止に努めている。	適

## 【評価対象年度 2023年度】

### (2) 業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年2月28日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年2月28日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
業務履行状況の確認結果(適否)		所管課所見		
<b>適</b>		要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、業務報告書、現地調査、ヒアリングにて確認した。		

### 7. 財務・収支状況の確認

#### (1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算								
収入	指定管理料	6,625	6,606	6,625	6,850	6,625	6,850	6,625	7,416	6,625	8,182
	利用料金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自主事業	0	1,096	0	984	0	1,457	0	897	0	1,710
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6,625	7,702	6,625	7,834	6,625	8,307	6,625	8,313	6,625	9,892
支出	人件費	4,601	4,558	4,601	4,885	4,601	4,831	4,601	5,379	4,601	5,475
	維持管理経費	1,070	1,054	1,070	1,094	1,070	941	1,070	1,134	1,070	1,416
	自主事業	0	2,065	0	1,107	0	500	0	553	0	593
	その他	954	994	954	870	954	955	954	966	954	947
	計	6,625	8,671	6,625	7,956	6,625	7,227	6,625	8,032	6,625	8,431
総計(収入-支出)		0	-969	0	-122	0	1,080	0	281	0	1,461

#### (2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	-	-	4.3	-4.1	6.2
負債比率	0	0	0	0	0

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	人件費、建物清掃等委託料の適正化、新たに会計事務費委託料の追加のため、指定管理料の増額を行った。 維持管理経費が高騰しているなかで、不必要な支出等もなく、日頃から経費削減に努めている。